

公告 昭 37.6.23 出願 昭 34.6.23 実願 昭 34-35427

考 案 者 柳 沢 明 東京都足立区梅島町1 栗林写真工業株式会社内
出 願 人 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町1

(全2頁)

カメラにおける遮光筒を兼ねる鏡胴装置

図面の略解

第1図は本実用新案の実施例を示す斜視図、第2図は同上鏡胴内筒部の斜視図、第3図は本案機構要部を示す縦断側面図、第4図は鏡胴装置を示す略例縦断側面図。

実用新案の説明

本実用新案はカメラにおける遮光筒を兼ねる鏡胴装置に関するもので、図示するごとくカメラ本体1の露光窓2に沿った内壁には堤状の突出部3を設けこれに嵌合させた鏡胴内筒4(第2図)がカメラ本体1に螺着されており該鏡胴内筒4には鏡胴外筒5が摺動自在に嵌合され接続部6に植着された突杆7がカメラ本体1に設けられた長透孔8に臨ませてある。従つて該鏡胴外筒5は光軸に対しての回転は係止され突杆7が遊合せる長透孔8に沿つて光軸方向に自由に摺動させるごとく配設されている。

鏡胴外筒5の装着孔9にはレンズ10およびシャッター部材11が固着されており、該鏡胴外筒5の進退作動に伴うシャッター部材11はカメラ本体1に固着された鏡胴外装部に設けられた操作環群に連動し操作環の回転によりシャッター調整を行うよう配設されている。

カメラ本体1の上部には作動ダイヤル12を固着する軸13を回転自在に軸着し該軸13には作動カム14が固着されている。さらに軸15には回転自在に横杆16が軸着されその両端はU字型状に成型された掛合部17, 17'が設けられその一端掛合部17は前記突杆7と係合し他端の掛合部17'は作動カム14と係合している。

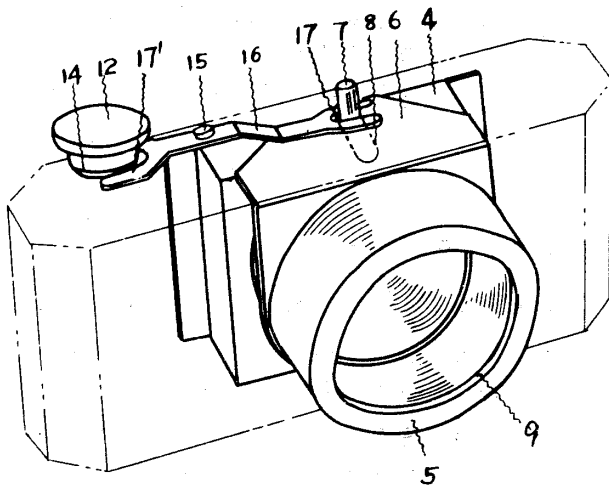
かかる装置において撮影時に作動ダイヤル12を

回転すればこの回転運動にて該作動ダイヤル12と共動せる作動カム14は横杆16を旋回作動され突杆7を介して鏡胴外筒5を光軸方向に進退作動なせしめ焦点調節を行うものであるが従来の焦点調節装置として多用される鏡胴直進式においては第4図に示すごとく作動ダイヤル12に連動せる鏡胴内筒4がカメラ本体1に固定された鏡胴外筒5に嵌挿させた機構の爲め鏡胴内筒4の光軸方向の進退作動に連動する距離計部材または鏡胴内部に設けられるシャッターチャージ機構に臨ぞます伝達部材のため鏡胴にはいくつかの透孔が設けられ公知のカメラに多用される遮光筒イを必要としたのであるが、本案前述せるごとく鏡胴内筒4をカメラ本体1の露光窓2に沿った内壁に密着固定させこれに作動ダイヤル12の回転により摺動される鏡胴外筒5を嵌装させた機構のためシャッターチャージ機構および鏡胴外筒5の焦点調節作動に関連する距離計部材等々を鏡胴外部に設けられる事が出来組立または調整も容易になし得る利点がありさらに鏡胴自体が遮光筒の役割を兼ねるもので、これまでの鏡胴内に設けられた限定された形状の遮光筒を廃棄する事が出来ると共にあやまつて撮影画面に漏光を与えるような不手際も全く解消されるものである。

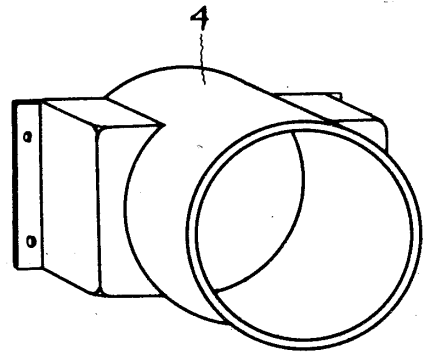
登録請求の範囲

図面に示すごとくカメラ本体に設けた露光窓2の内壁に鏡胴内筒4を固着せしめ作動ダイヤル12の回転により伝導部材を介して光軸に対し進退作動をされる鏡胴外筒を前述鏡胴内筒4に嵌装して成るカメラにおける遮光筒を兼ねる鏡胴装置の構造。

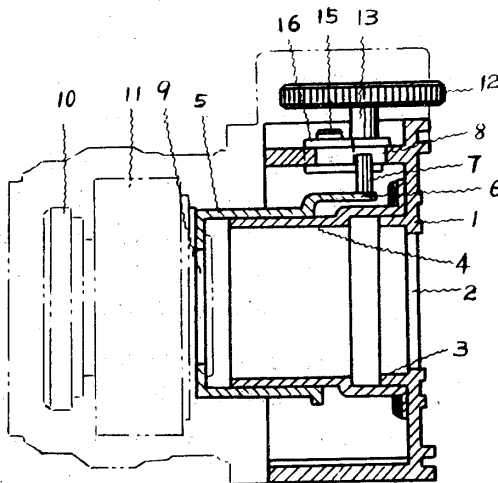
第1図



第2図



第3図



第4図

